

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1)有価証券について

満期保有目的の債権…償却原価法(定額法)によっている。

(2)減価償却について

減価償却は、定額法によっている。

(3)退職金引当金について

退職金の支給が想定される常勤職員がいないため、退職金の引当ては行っていない。

(4)消費税の会計処理について

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	19,002,803	5,463,300	13,539,503
什器備品	569,951	537,500	32,451
合計	19,572,754	6,000,800	13,571,954

3 実施事業資産の状況

事業区分	資産の名称	当期末帳簿価格
継続	電話加入権	4,000
	什器備品(研究事業用パソコン)	32,450

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産は保有していない。
2. 引当金の明細に該当する負債はない。